

今、考えないと... 人生を変えてしまう問題です

子どものネット使用・緊急実態調査

H27年度11月実施

* アンケートは保護者に対して実施

「保護者」アンケート集計結果				古里中学校	市内全中学生	13,513 人	回答率 70.9%
全生徒	402 人中	220 人回答	回答率	54.7%	市内全小学生	28,558 人	回答率 84.6%

Q3 スマホ・ケータイを使わせていますか？

古里中学校	全学年	いいえ	はい	男子	いいえ	はい	女子	いいえ	はい	全市小学校	いいえ	はい
	97人	44.1%		31人	36.0%		66人	49.3%			34.5%	
全市	全学年	いいえ	はい	男子	いいえ	はい	女子	いいえ	はい		いいえ	はい
	5,794人	60.5%		2,523人	56.4%		3,271人	64.1%				

男女とも過半数を占めていますが、全市では女子の方が%が高いようです。

Q4 お子さんにスマホ・ケータイを使わせている方は何年生の時から使わせていますか？

全学年を通じ、男女とも中学校への進学に前後して使用開始する率が高いようですが、女子の方が早い時期から使用しているようです。

Q5 通信機能付きゲーム機・タブレット・音楽プレーヤーを使わせていますか？

古里中学校	全学年	いいえ	はい	男子	いいえ	はい	女子	いいえ	はい	全市小学校	いいえ	はい
	174人	79.1%		68人	79.1%		106人	79.1%			70.4%	
全市	全学年	いいえ	はい	男子	いいえ	はい	女子	いいえ	はい		いいえ	はい
	7,473人	78.1%		3,661人	81.8%		3,812人	74.8%				

男女とも高い比率を占めています。

Q6 お子さんに通信機能付きゲーム機・タブレット・音楽プレーヤーを使わせている方は何年生の時から使わせていますか？

全学年を通じ、男女とも中学校への進学に前後して使用開始する%が高いようです。

Q7 お子さんは上記通信機器を何に利用していますか？（複数回答可）

男女とも通話・メール・LINE・ゲーム・インターネットの%が高いようですが、男子はゲームが、女子は通話・メール・LINEがより高いようです。

Q8 お子さんのスマホ・ケータイの1日あたり(平日)の平均利用時間は？

1 時間以上の利用は、 **66.0%** 64人 ※全市では **57.4%** 3,324人 です。

Q9 通信機能付きゲーム機・タブレット・音楽プレーヤーの1日あたり(平日)の平均利用時間は？

1 時間以上の利用は、 **57.5%** 100人 ※全市では **49.1%** 3,670人 です。

Q10 お子さんが巻き込まれたことのあるトラブルについてお答えください（複数回答可）

*保護者が把握しているデータです

%は低いですが実数として小学生313人、中学生では3倍の939人が何らかのトラブルに巻き込まれています。特に「セクスティング被害」16人は重大な問題と思われます。

* セクスティング(英語: Sexting)とは、性的なテキストメッセージまたは写真・動画を通信機器間で送る行為であり、SEXとtextingの混成語である。textingとはSMSのこと。

Q11 ご家庭でお子さんと上記機器の使用についてルールを決めていますか？また持たせていないご家庭で今後持たせる時、どのようなルールを考えていますか？お答えください（複数回答可）

「家庭のルール」については高い関心を示していることがうかがえます。
しかし、わずかですが「家庭のルール」を決めていない保護者もいます。
我が子やその友人たちがトラブルにあわない様に子どもと一緒にルール作りをする必要があると思われます。

「友達ルール」より「家庭のルール」を大切に！

アンケート結果を通して全体的に言えることですが、子どもたちがスマホ等を使用することに対し肯定的な保護者が多く、しかも低学年の保護者ほどその傾向が強いように思われます。

そこで最も重要な事は

「家庭のルール」を「子どもと一緒に作る」ことです。

インターネットは「世界」につながっています。
十分な社会性を持つ前の「未成熟な」子どもたちがいきなり「世界」と関わりを持つということは、当然多くの危険がつきまといます。

大人が大人の責任で任意で行う行為とは全く違うものです

**子どもを守るのは大人の役目です。
そして、子どもの最後の防波堤は「保護者」です。**

最新の知識を常に身につけることは非常に難しいことですが、せめて自分の出来る限りの予防を施し、子どもたちを危険なトラブルから守りたいものです。



～ 予備知識 ～

デジタルカメラやスマートフォンで撮影した画像には、Exif情報と呼ばれるさまざまな情報が記録されています。

その中には位置情報である「GPS情報」も含まれています。

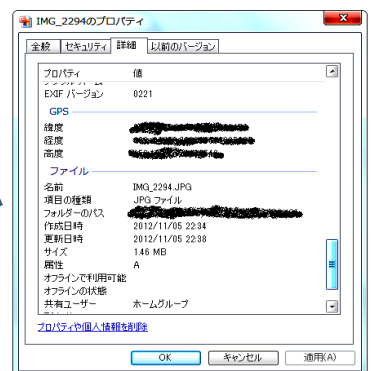
ご存知の方もいるかもしれませんが、このGPS情報を含んだままの写真がアップされれば、**写真を撮った場所を突き止めることも可能**となります。

トラブルを避けるためには？

- ・写真撮影でGPS情報を記録しないように設定する。
- ・アプリの位置情報はオフにする。
- ・モザイクをかけるなど、顔がはっきりするような写真は載せない。
- ・住んでいるところが特定されるような背景の写真や書き込みは避ける
- ・投稿時の子どもの名前は、普段使っている呼び名などは使用しない。

ストーカー
被害等

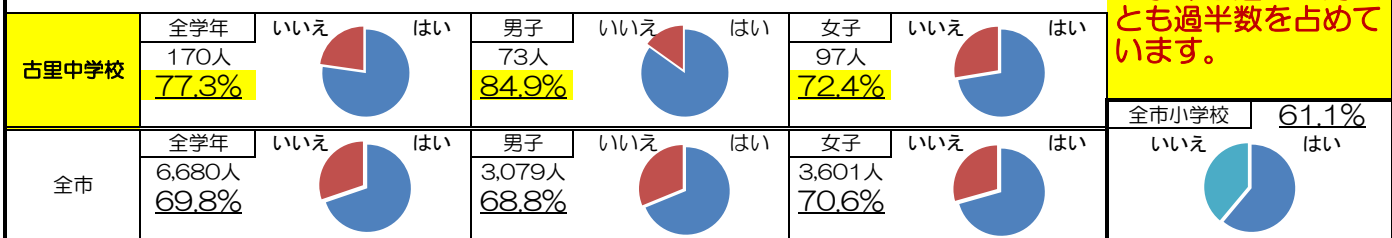
* 設定は各端末によって異なります *



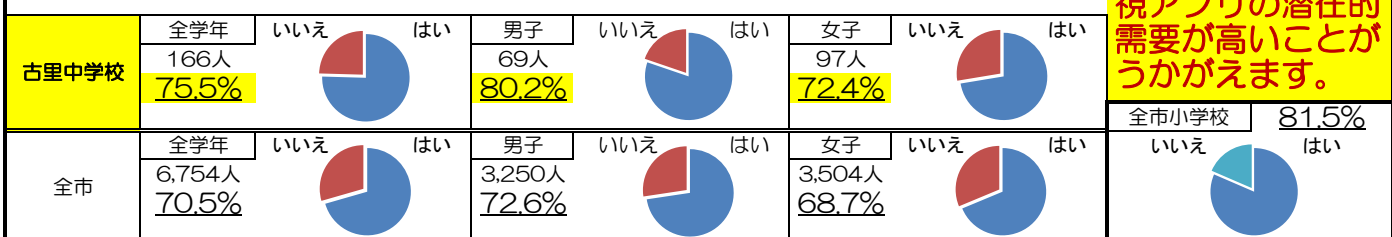
Q12 子どもに上記機器を持たせていることで、あるいは持たせるとした場合に心配な点はどのようなことですか？
教えてください。（複数回答可）

全学年を通して「勉強の妨げになる」がとても高い%を占めています。他にも高い%を占めている項目があり心配なことが多数あることがうかがえます。

Q13 長時間スマホ利用による学習効果減という統計データについて知っていますか？



Q14 親が子どもの使用状況を監視・確認できるアプリがあれば利用しますか？



ご協力ありがとうございました。

この結果をふまえて 今後、宇都宮市PTA連合会 教育課題委員会では
子どものネット使用について引き続き検討し皆様と前進して行きたいと思います。
今後ともご協力のほど宜しくお願いいたします。

平成28年2月3日

宇都宮市PTA連合会会長 金田 淳

同教育課題委員会委員長 高野 博之